

輸送の安全に関する取り組み

送迎バスの乗務員に対する研修を実施しました

令和 8 年 12 月 22 日実施



1 危険の予測及び回避

〈危険予測運転の必要性〉

★見えない危険を読む力をつけることが必要

〈危険予測のポイント〉

★子供と高齢者、自転車などの行動特性に対する配慮

2 健康管理の重要性

〈生活習慣病の要因と健康起因事故との関連〉

3 緊急時の対応

〈「**緊急時対応マニュアル**」をもとに緊急事態発生から負傷者の救護・安全確保、警察への通報、会社対応まで〉

4 ヒヤリハット

1 件の重大事故の背景には、29 件の軽い事故と 300 件のヒヤリハット（事故の 1 歩手前の出来事）が有ると言う法則

当社で実際にあったヒヤリハットの動画を見ていただき、危険を予測・回避する為の重要性について指導した。

事故に遭う恐れのある危険な状態を、常に予測しながら運転を行うことにより、もし危険な状況になっても余裕を持って回避できる。

運転中のさまざまな危険な場面や状況をドライバーが認識することによって、危険への気づき、つまり危険感受性が高まれば、事故の予防へ貢献することが大いに期待できる。



事故防止に向けた心構えを改めて全員で確認し、事故発生時の対応として負傷者の救護・二次被害の防止措置について学びました。

車内置き去り防止対策についても重大なものとして、確認の大切さを全員に指導しました。

今後も無事故を徹底し、安全運行を続けてまいります。

